

ニューバードの主翼を担う

ユニットリーダー紹介



小山写真館館長 小山 力 氏

2019年度よりユニットリーダーが異動となりました♪
 にっばっばでお馴染みの小山写真館館長である小山 力 氏に撮影を協力していただきました。



しょうぶ(2A)
湯藤 高伸



すいせん(2B)
松本 淳



はなみずき(2Cショート)
今野 奈緒



のぼら(2Dショート)
熊谷 透



ひばり(3A)
成田 義崇



すずめ(3B)
久保田 健太郎



ひまわり(3C)
木村 あみ



すずらん(3D)
宮本 幹夫



うぐいす(4A)
丸山 洋平



めじろ(4B)
臼井 健治



カキヤ(4C)
佐藤 佳代



カワセミ(4D)
安川 航司

皆様がニューバードで楽しく生活を送っていただくために精一杯サポートします。
 これからもニューバードをよろしくお願ひいたします。

あとがき

元号が“平成”から“令和”に変わった5月1日。ニューバードにとっても“12回目の開設記念日”という記念すべき日でありました。また、令和元年第一号の広報紙“にっばっば”も記念すべき第30号。ひとえに皆様のご理解、ご協力の賜物と感謝致しております。今後も末永く皆様と共に歩んでいけるよう職員一同努めてまいります。今後ともご指導の程、宜しくお願ひ致します。

ニューバード情報
 本入居 男性 19名
 女性 80名
 平均年齢 86.8歳
 平均介護 4.2度
 (令和元年5月1日現在)

にっばっば

～ニューバードだより 第三十号

社会福祉法人 近代老人福祉協会
 特別養護老人ホーム ニューバード
 〒223-0057 横浜市港北区新羽町 2530-4
 Tel: 045-534-0150 Fax: 045-544-7477
 Url: <http://www.kindai-rf.or.jp/newbird/>
 発行日 令和元年 5月 15日
 発行責任者 施設長 大和田 竜太



ご挨拶

社会福祉法人 近代老人福祉協会
 理事長 清水 唯雄



いよいよ元号が『平成』から『令和』に変わり、これからどのような時代になるのか期待と不安の気持ちが入り混じっております。平成19年5月に開設したニューバードは、おかげさまで改元の日開設12周年を迎えることができました。また、広報誌「にっばっば」も第30号を数え、歴史を積み重ねられたことを非常に嬉しく思っております。さて、平成の30年間で情報通信技術は凄まじい発展を遂げ、これからは人工知能やロボットの時代と言われております。しかし、このような時代だからこそ『人』を大切にしなければなりません。特に介護分野の人手不足は深刻で、外国人労働者の受入れを始め多くの課題を抱えております。難しい局面が続きますが、常に法人の基本理念である『優しさ・思いやり・礼節』を実践し、新しい知恵を出し合いながら、これからの人口減少社会・超少子高齢社会に貢献できる施設を目指していきたく思っております。

平成31年の思い出

ご家族に支えられながら、イベントやアクティビティ活動を行っています

睦月 (1月)

初詣

如月 (2月)

節分

弥生 (3月)

雑祭り

大竹町内会館で開催された「つるし雑祭り」

おやつバイキング

卯月 (4月)

親桜

Michiko Sasaki Piano



春のコンサート



佐々木さんの奥さまのご厚意で始まったピアノコンサートも、今回で15回目を数えました。開催は春・夏・秋の年3回。何故、冬はないのか尋ねると、「寒いし、みなさんも大変でしょうから」と私達を気遣う言葉が返ってきました。登場するゲストも多彩で、あどけない女の子達(演奏はプロ並み)から年の差? 歳の大ベテランまで…老若男女を問わず、昔懐かしの唱歌からクラシックまで、季節を感じながら楽しみましょう。(4月18日)

佐々木さんの奥さまのご厚意で始まったピアノコンサートも、今回で15回目を数えました。開催は春・夏・秋の年3回。何故、冬はないのか尋ねると、「寒いし、みなさんも大変でしょうから」と私達を気遣う言葉が返ってきました。登場するゲストも多彩で、あどけない女の子達(演奏はプロ並み)から年の差? 歳の大ベテランまで…老若男女を問わず、昔懐かしの唱歌からクラシックまで、季節を感じながら楽しみましょう。(4月18日)



リラックスしま専科

4月のある日、いつもと変わらずご入居者の手を優しくマッサージする青木さんの姿が目にとまりました。

でも1年前の“この日”は、ここに入居されていたお母様のご主人のもとに旅立たれた日でもあったのです。そのような特別な日に何故? と尋ねると、「特別な日だからこそ、どうしても来たかったんです」と笑顔で話してくれました。きっとお母様も娘さんの姿を傍で見ていたことと思います。いつもと変わらない「特別な日常」に立ち会えた事に感謝です。

開催日は第2・4月曜の10時~11時

2階セミパブリックにてハンド・フットマッサージと足浴を行っています。

あなたもリラックスしませんか?



ご長寿インタビュー

3Bユニット 野口 カヲル 様
大正10年8月3日生 97歳



風光明媚な観光地、妙高高原生まれの自称74歳。父の背中を追うように教職に就かれたそうです。竹の物差しが必需品で、時に愛のムチをふるう熱血教師だったとか・・・でも、夏休みになると下宿先に教え子が泊まりに来るなど、とっても慕われていた“カヲル先生”。今でも“先生〜”と声をかけると、“気をつけ!”と威勢の良い声がリビングに響きます。愛情とユーモア溢れる先生だったんですね。

娘さんの話しでは「勉強しなさい」と言われた事はないそうです。何より大切にしていたことは、(其一) 誰とも隔たりなく付き合うこと、(其二) 贅沢はせずバランスよく食べること。萎縮せず伸び伸び育てられた娘さん達は、現在、教育・福祉の現場で活躍中。母の背中を追ったのでしょうか。

4つの時代を生き抜く生涯現役の“カヲル先生”これからもご指導宜しくお願いします。



ショートステイ便り

“せっかく集まる空間があるのにもったいない”
“昔はどんな娯楽が流行っていたんだろう?・・・”

『あ、そうだ! やってみよう!』

明るいライトも少し覆えば間接照明、無機質な白壁だって巨大スクリーンに・・・

ソファを並べれば“小さな映画館”の出来上がり。

利用者の皆さんは、白壁に投影される懐かしの映像を見ながら「これ、昔よく見たのよ」「次はあの作品が見たい」「あの頃は良かったなあ」等々、思い出話に花が咲いていました。

穏やかで和やかな空間(スクリーン)に、皆さんの“あの頃の姿”が投影されているかのようでした。



上映会は第3週を除く水曜日

利用定員: 20名

対象: 要支援1~2及び要介護1~5の方